

編集・発行

海老名市役所 広報広聴課

〒243-0492

神奈川県海老名市勝瀬175番地の1

☎(046) 231・2111

URL <http://www.city.ebina.kanagawa.jp>

*この広報は再生紙を使用しています。

世帯と人口

(12月1日現在)

世帯	44,698	(+ 64)
人口	119,837人	(+ 94)
男	61,092人	(+ 8)
女	58,745人	(+ 86)

広報えびな

市長(右端)と語る左から前列太田、若杉、後列本田、永野、菅谷、中嶋のみなさん(海老名中央公園で)



君らで新たな懸け橋を

道づくりは利用者考えて

若杉 祐樹さん (有馬中3年)
これからは、歩行者・車だけでなく、自転車のことも考えた道づくりを。自転車道を通ると狭いし、車道では危ないし。歩道のない道路を走るときも、かなりの怖いです。開発で緑が必要以上に減ったら残念。市民の立場でまちづくりをすれば、安心して住める海老名になると思う。

都会でも田舎でもない海老名が好き

中嶋 由香さん (今泉中3年)
中央公園の周りには、こんなに人がいたのかと思うほど。でも公園の植木の中に、たばこの吸い殻がちらちら落ちていた。ごみ箱を増やせばよいと思います。
海老名は都会でもなく、田舎でもないところが好きです。これからは花や木の多いまちがいい。そして、このまちの良さをもっと多くの人にわかってもらえたらいいですね。

子ども議員と市長まちを語る

あけましておめでとうございます。変化の著しい社会情勢の中、また厳しい財政状況下、市では市民参加を推し進め、ソフト面に重点を置いた施策を進めています。今回は、今後の海老名を背負って立つ世代(去年8月海老名子ども議会で議員として市政への質問をした中学生7人)に、「現在と将来の海老名をどう思う、どうしたい」について語ってもらいました。

もつと市のPRを

太田ひかりさん (柏ヶ谷中2年)
最近、趣味の買い物でリナウォークをよく利用しますが、海老名駅の周り以外は、今のままがいいです。便利さなど、市の良さをもつとPRすればいいと思います。山下公園や中華街のようなスポットもつとってみては。それから、市内の学校すべてをバリアフリーの施設にしたいと思っています。

マナー守ってさらに住みよく

永野 祥弘さん (大谷中3年)
市は、海老名駅前がかなり発展し、人口も増加しました。便利に、にぎやかになって、多くの人が満足していると思います。それはまちを良くしようとしている人の努力のおかげです。一人ひとりがポイ捨てをしないなどのマナーを守ればきれいなまち、さらに良くなると思います。
次世代のためにも、僕たちができることは精一杯やり、住みやすい海老名であるようにしたいです。

生き物すべてに よいまちに

本田 慎吾さん (海西中3年)
子ども議会では海老名市の治安について質問しました。その後も、事件・事故はゼロにならないが、少なくとも減らせる。僕は市を極力安全なまちにしていきたい。
また他校の子ども議員が、自然(環境)についてしっかり考えていることが分かってよかったです。すべての生き物にとって良い海老名「にしてあげたい」なあと感じます。

自然大切にしたい

宮代 浩美さん (有馬中2年)
「この海老名が大好きです。未来のものまであってほしい。便利だからと、畑などをつぶしてマンションやお店を造ったりする前に、自然の大切さについて考えることが必要ではないでしょうか。ビルを建てたりする代わりに、緑の多い公園などを造ってほしいです。」

発展させつつ 緑を多く

菅谷 優太さん (海老名中2年)
JR海老名駅の周りにも人の集まるお店があればいいと思います。また、バス便は、大谷・望地方面を増やしてほしい。

「私が守る」意気込みで市政見守って

市長 亀井 英一
これまで海老名は、「顔のないまち」などといわれてきました。みなさん感じておられるように、海老名駅前が便利になった。これは顔づくりへの重要な要素です。便利になれば人が集まり、にぎわいが創り出され、やがてまちの顔となるからです。
私は海老名を、老若男女が安心して楽しめるまちにしたいと思っています。今年、低所得者に配慮した介護保険の見直し、小中学校校舎の耐震補強工事の促進、伊勢山自然公園のワークショップでの整備など、財政は厳しくとも、都市基盤整備と日常生活を暮らしやすくする施策を、工夫と見直しを重ねながら進めていきます。ここは私が守るまち、という意気込みをもって見守ってこれればありがたいです。